※令和４年度以降入学生用

学校番号	3015

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「最新　数学Ａ」　（数研出版）						
副教材等	書き込み式シリーズ【基本～標準】教科書傍用 パラレルノート 数学Ａ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業用のノートやプリントで授業を進めます。
・様々な法則や公式の説明及びそれを使った問題の解き方を説明します。授業用のノートやプリントにしっかりとまとめ、理解してください。
・授業中に出題する問題を自分で解いていきましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方をきちんと書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・定期考査ごとに配布する対策プリントにしっかりと取り組みましょう。
・パラレルノート 数学Aは単元の切れ目等に提出してもらいます。

2　学習の到達目標

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　場合の数と確率	第１節　場合の数 １　集合 ２　集合の要素の個数 ３　樹形図、和の法則、積の法則 ４　順列 ５　円順列と重複順列 ６　組合せ	a:集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則を利用し、いろいろな順列、組合せの総数を求めることができる。 b:数え上げにおいて、もれや重複が生じないための工夫ができ、順列や組合せを用いて場合の数を表現することができる c:起こり得る場合を、もれや重複がないように数えるための工夫について、調べて、順列や組合せの考えに関心をもち、具体的な場面に活用しようとする。	単元ﾃｽﾄ	単元ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ
		第２節　確率 ７　確率の意味 ８　確率の計算 ９　確率の基本性質 10　和事象の確率 11　余事象の確率 12　独立な試行の確率 13　反復試行の確率 14　条件付き確率 15　期待値	a:確率の意味や基本的な法則についての理解し、それらを用いて事象の確率を求めることができる。 b:意思決定の場面で確率や期待値ができることを理解し、実際に活用することができる。 c:事象の起こりやすさを 1 つの数値で表すことに関心をもち、確率の求め方について調べてみようとする。	単元ﾃｽﾄ	単元ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
後期	第2章　図形の性質	第1節　三角形の性質 １　角の二等分線と比 ２　三角形の外心、内心、重心 ３　チェバの定理・メネラウスの定理	a:三角形の基本的な性質を理解し、三図形の計量に利用することができる。 b:三角形の基本的な性質を導く過程について、考察することができる。 c:三角形外心、内心、重心、内角や外角の二等分線の性質に関心をもち、調べてみようとする。	単元ﾃｽﾄ	単元ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

後 期	第2章　図形の性質	第２節　円の性質 ４　円周角の定理 ５　円に内接する四角形 ６　円と接線 ７　接線と弦の作る角 ８　方べきの定理 ９　２つの円	a:円に関する基本的な性質を、図形の計量に利用することができる。 b:円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを説明できる。 c:三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円の接線の長さや、円の接線と弦の作る角について関心をもち、調べてみようとする。	単元ﾃｽﾄ	単元ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題
		第３節　作図 10　基本の作図 11　いろいろな作図	a:基本的な作図が行うことができる。 b:作図の過程において、平面図形のどの性質を用いているかを考察できる。 c:数学で扱う作図と日常において図形を描くことでは、何が違うか考えてみようとする。	単元ﾃｽﾄ	単元ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ
		第４節　空間図形 12　空間における直線と平面 13　多面体	a:空間における直線や平面の位置関係、およびそれらのなす角について理解している。 c:空間における図形の位置関係について考えようとする。	単元ﾃｽﾄ		観察 提出ﾉｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度